一昨夜は、どうも。

松屋小感は、いそがないそうですが、そのあらにメもう日をいっていただければ書かせていただきます。

深田知道論は、ゆっくり時間をかけたいと思います。わけのわからないようなむつかしい評論はきらいですから、わたしは雑文的に書きたいと思っています。ゆえに深田知道論というよりも、作家論、こくくは人間論（人生について）になるやわからません。

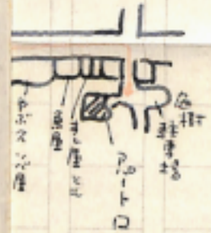
長篇　一

短篇小説　二

詩

これが、毎年のくごとのようです。

それから、わたくしのところの道順ですが、池上線で、洗足池下車（えばらながのぶの）。その駅をあたとこころにバスの乗場があり、そこから、大森駅か空港行きのバスにのって三つ目の（えばら）榮病院前にて、下車。歩いて、一分のところです。



宮崎

大田区東雲谷五の一の九
口荘内
高木　護